

女子の部

日本エースサポート A が全ての対戦に勝利、悠々の二連覇達成

準決勝戦までの2試合の全対戦を一本勝で制し、他を寄せ付けない勢いで勝ち進んだ日本エースサポート A が、同じく快進撃を続けて決勝戦に進出した日本生命をも圧倒、悠々二連覇を達成した。

[第 1 回戦]

ひらた整骨院クラブ 0 - 2 関西医療学園

(先鋒) 水谷 香 初段	引分	土肥 早恵 初段
(中堅) 小谷 諭香 3段	合せ技	仲井 樹里 初段
(大将) 首藤 美郷 2段	上四方固	辻本 葉子 初段

近大クラブ 2 - 0 京都医健専門学校

(先鋒) 濱崎 麻帆 2段	内股	中川 富葵 2段
(中堅) 濱砂 昌未 初段	内股	植田 裕子 4段
(大将) 野方 ゆかり 3段	引分	中 安奈 2段

日柔整請求サービス 1 仁康会小泉病院 A

代表戦

(先鋒) 永井 菜穂子 2段	上四方固	橋本 果奈 2段
(中堅) 伊福 幸子 3段	合せ技	藺田 香織 2段
(大将) 北森 満 初段	引分	杉本 智奈美 初段
(代表) 伊福 幸子 3段	判定 ●	藺田 香織 2段

仁康会小泉病院 B 1 - 日本エースサポート B

(先鋒) 川越 美和 2段	引分	宮城 孝乃 2段
(中堅) 渡津 絵美 初段	合せ技	西原 沙紀 2段
(大将) 松尾 星 2段 ⊖	優勢勝	市村 圭奈子 2段

道草道場 2 - 0 明治東洋医学院専門学校

(先鋒) 奥原 若菜 2段	引分	南 ひとみ 2段
(中堅) 山本 美華 初段	合せ技	橋垣 紀恵 3段
(大将) 比南原 まい 2段	合せ技	遠藤 祐美 初段

関西健康科学専門学校 0 - 3 日本生命

(先鋒) 橋本 萌 2段	横四方固	松本 明子 2段
(中堅) 山本 真衣 2段	合せ技	高部 由美 3段
(大将) 越智 めぐみ 2段	横四方固	児山 沙月 2段

[第 2 回戦]

日本エースサポート A 3 - 0 関西医療学園

(先鋒) 武田 三友紀 2段	内股	土肥 早恵 初段
(中堅) 石川 笑美子 3段	横四方固	仲井 樹里 初段
(大将) 船越 亜美 3段	横四方固	辻本 葉子 初段

近大クラブ 0 - 1 仁康会小泉病院 A

(先鋒) 濱崎 麻帆 2段	優勢勝 ⊖	野瀬 美幸 2段
(中堅) 濱砂 昌未 初段	引分	藺田 香織 2段
(大将) 御厨 菜美子 3段	引分	杉本 智奈美 初段

ワイエスフード 1 - 2 日本エースサポート B

(先鋒)	不戦勝	宮城 孝乃 2段
(中堅) 久保 美聡 初段	反則勝	西原 沙紀 2段
(大将) 北田 裕美子 3段	内股	市村 圭奈子 2段

道草道場 0 - 2 日本生命

(先鋒) 奥原 若菜 2段	優勢勝 ☹	松本 明子 2段
(中堅) 山本 美華 初段	引分	高部 由美 3段
(大将) 比南原 まい 2段	(指導3) ☹	児山 沙月 2段

[準決勝戦第1試合]

昨年のチャンピオン、初戦をパーフェクトで制し勢いに乗る日本エースサポートAと、ここまで僅差の勝負を勝ち抜いて勝ち上がった仁康会小泉病院Aとの対戦。

日本エースサポートA 3 - 0 仁康会小泉病院A

(先鋒) 武田 三友紀 2段 ☹	優勢勝	橋本 果奈 2段
(中堅) 石川 笑美子 3段	合せ技	藺田 香織 2段
(大将) 船越 亜美 3段	縦四方固	杉本 智奈美 初段

先鋒戦。左組み同士。体格で大きく劣る日本エースサポートA武田だが、左組から右の背負投、袖釣込腰を繰り出す。

試合は武田が終始リードし、1分15秒、右小内刈で仁康会小泉病院A野瀬から有効を奪う。その後も優勢に進め、防御の橋本に2分34秒、指導1。日本エースサポートA先取。

中堅戦。左右のケンカ組手。開始早々の26秒、日本エースサポートA石川が左に少し振ってから右大内刈を仕掛け、仁康会小泉病院A藺田から技ありを奪う。

その後、1分20秒にも同じモーションの大内刈で技あり。合せ技で早々と決勝戦進出を決める。

大将戦。開始間もなく日本エースサポートAの船越が、仁康会小泉病院A杉本を足車で潰し寝技に移行。伏せた杉本を足から返して押し掛かり、37秒に縦四方固で押さえ込む。日本エースサポートA、難なく決勝戦進出。

[準決勝戦第2試合]

有力選手を揃え、昨年から女子の部登場の日本生命が実力を遺憾なく発揮して、無敗で準決勝戦に駒を進め、日本エースサポートBとの決勝戦進出を賭けた一戦。

日本エースサポートB 0 - 2 日本生命

(先鋒)宮城 孝乃 2段	引分	松本 明子 2段
(中堅)西原 沙紀 2段	袈裟固	高部 由美 3段
(大将)市村 圭奈子 2段	横四方固	児山 沙月 2段

先鋒戦。共に左組の両者、しっかり組み、背負投、大内刈、袖釣込腰、体落等の攻防を見せる。

後半は日本エースサポートB宮城が優勢に出て技を繰り出すが、決め手に欠け引分ける。

中堅戦。左右のケンカ組手から、両者、体落の応酬。中盤までは盛んに攻防のあった両者だが、中盤を過ぎるあたりから日本エースサポートB西原の動きが止まり、2分11秒に指導1を受ける。

その後は攻撃姿勢を見せた西原だが、袖口を握り続け2分45秒に指導2を受ける。そして2分55秒、日本生命高部が組み際の低い体落に入ると、西原は横ばいに伏せ、高部がそのまま引き付け袈裟固で押え込む。3分19秒25秒経過のブザーが響き、日本生命が均衡を破る。

大将戦。体格で勝る日本生命児山が右組からがっちり組み止めると、日本エースサポートB市村は防御姿勢となり、28秒指導1を受ける。

その後も児山は十分な右組から市村を圧倒し、1分丁度に内股で有効を奪う。そのまま寝技で攻め、1分8秒横四方固に押え込む。日本生命が初の決勝戦進出を果たす。

[決勝戦]

ここまで全試合一本勝のパーフェクトで決勝戦進出、往年のミキハウス以来の連覇を目指す日本エースサポートAと初戦から準決勝戦までの3試合負けなし、こちらも順当に勝ち上がり、出場2年目で初優勝を狙う日本生命との決勝戦。

日本エースサポートA 3 - 0 日本生命

(先鋒)	武田 三友紀 2段	⊖	優勢勝	中澤 千里 2段
(中堅)	石川 笑美子 3段	⊖	(指導2)	高部 由美 3段
(大将)	船越 亜美 3段		縦四方固	児山 沙月 2段

先鋒戦。日本エースサポートAの武田が序盤から攻勢に出る。序盤から中盤での武田得意の左組からの右小内刈を、日本生命中澤は二度ともよく体を捻って逃れるが、2分15秒武田の狙いすました右袖釣込腰に中澤が転がり技あり。その後も武田が右小内刈、右袖釣込腰、右背負投で前後に揺さぶって中澤を翻弄するが中澤もよくしのぎ、プザー。日本エースサポートA先制。

中堅戦。左右のケンカ組手、試合は組手争いから日本エースサポートA石川が右からの攻めでやや優勢に進めるが、共に見るべき技無く2分28秒に両者指導1。

その後、石川の攻勢に日本生命高部の守勢が続き、3分15秒に指導2が与えられる。このまま時間となり、日本エースサポートAの二連覇成る。

大将戦。日本生命児山は盛んに右大外刈を仕掛けるが、体重の重い日本エースサポートA船越は動じず。

2分20秒両者指導1の後、船越は右組から支釣込足気味に児山を右に振って捻り潰し、伏せた児山に押し掛かり、3分8秒横四方固でがっちり押え込む。